

CHALLENGE

〈チャレンジ〉 - 挑戦の積み重ねが自らのプライドとなる -

北海道江別高等学校
事務情報科通信
2025.3.24 発行

<第6号>

さらなる飛躍に向けて

～事務情報科での一年を振り返って、今後の展望～

1年F組 皆木 佑斗

今年一年間を振り返ると、1年F組のみんなはいつも明るく元気で、授業や行事に積極的に参加し、しっかりとけじめがついたクラスだったと思います。学校行事ではこれといった成績は残せませんでした。クラスとしての団結力や一人ひとりの個性を生かした活動を行えたと感じました。

勉強については、クラス全員が簿記検定やビジネス計算実務検定などの商業に関する検定に合格、ビジネス文書実務検定については、数名が速度1級を合格など、資格取得に力を入れた一年だったと思います。来年の検定はレベルが上がり、資格を取得するのが難しくなってくると思いますが、日々の努力を忘れず資格取得に向けた勉強をしていきたいと思っています。

来月には高校2年生となり、あっという間に時間が過ぎていくと思います。「まだ2年ある」と、余裕を持つのではなく、残りの2年間をこのクラスで無駄無くより厚みのある高校生活にしていきます。

2年F組 藤井 睦乃

この二年間を振り返ると、2年生は行事がたくさんありました。インターンシップや修学旅行などがあり、特にインターンシップでは自分の進路に向けて考えたり、社会の礼法やマナーの大切さを教わりました。

3年生では、最上級生になるので後輩の見本となると同時に、学校の顔となることを自覚しながら生活しないとけないと思います。

そして、高校生のラスト一年です。今取得できる検定をとりながら受験勉強に取り組み自分と向き合い悔いのないような選択をして自分ができることを最大限にやり、最後の一年を楽しみ、思い出をたくさん作り、一日一日を噛み締めて過ごしていきたいです。

お世話になった事務情報科先生より



「Teaching」と「Coaching」

商業科教諭 大嶋 武史

教師のことを英語で「Teacher」といいます。教える人という意味になります。したがって生徒の皆さんは「教わる人」ということになります。しかし「教育」は「教+育」という二つの漢字でできています。「育」とはどのような意味でしょ

うか。

学校教育では、「育」は生徒の「学ぶ喜び」「考える喜び」「興味・関心・意欲」を引き出し、「教」の効果を高めることが期待され「Coaching」と訳されます。スポーツの世界ではよく聞く言葉です。主体となるのは選手ですが、その選手が活躍できるように指導や支援を行うのがコーチです。15年ほど前の研修会で、これからの教育には「育」をメインとする授業が求められることを学びました。

理由は社会のグローバル化とICTの発達により、我々を取り巻く環境が複雑化・高速化し、価値が多様化していったことによります。以前は一つの価値が永久に続くように思われましたが、現在は価値が次々と変化し、場合によっては複数の価値が存在する社会になっています。32年前に教員になった際、大学で学んだコンピュータ言語「コボル」を生徒に教えました。現在は毎年新しい言語が誕生し、10年ごとには主流となる言語が変わり、大学や会社で使っていた「コボル言語」は、そんな言語もあったねといわれる程度になってしまいました。

授業を行っていていつも思うのです。今教えていることは、いつまで活用できるのか。「簿記」でも勘定科目が変わったり、新しい勘定科目が使われるようになっていくのです。何より「小切手」や「手形」という言葉も、もうすぐ教科書から消えるでしょう。

今後ビジネスを学ぶ皆さんが身につけるべき学力は、情報にあふれる社会において、正確な情報、必要な情報を取捨選択し、それらの情報を分析し、よりよい答えを導き出す力だと私は考えています。

私の授業では、黒板に書くことよりも、生徒と話をすることに重点を置いています。生徒が黒板をノートに書き写すことに集中力を使い、説明をしても、話を聞かず書くことに集中している姿を多く目にしたからです。重要なのは、説明の中から何が重要なのかを判断しメモをとり、そして自分自身で考え、オリジナルの答えをクリエイトすることなのです。答えは無限にあります。教えられた一つの答えに固執することを社会は求めなくなっているのです。その時その時その場その場で、よりよい答えを導き出す力を是非身につけてほしいと思います。

ある対談の記事を読んでなるほどと思ったことがありました。「氷が溶けたら何になる」。ほとんどの人が「水になる」と答えるでしょう。でも「春になる」という答えはどうでしょうか。考えるアプローチが違いますが、どちらも正しい答えです。皆さんには「水になる」という答えを出した後、他の答えはないかと考えることができる人になって欲しいと思います。

私は4月から、平成10年から6年間勤務した道南の八雲高校(総合ビジネス科1クラス・普通科2クラス)へ赴任することになりました。縁があり関わることになった生徒の皆さん、1年間の勤務でしたが本当にありがとうございました。皆さんの今後の成長を祈念しています。

全商検定が変わる

令和7年度から、CBT(パソコンを使った形式)による検定試験が実施されます。今回は1月の簿記実務検定の3級で実施されます。さらに、各受験料がそれぞれ300円値上がりとなります。(例:簿記実務検定1300円→1600円)一回一回の検定を落とすことなく確実に合格してほしいと思います。

令和7年度 全商検定実施日

●PBT(紙を使った形式)による検定試験

検定試験名	回数	実施期日
ビジネス計算実務検定試験	150	令和7年 6月 15日(日)
	151	令和7年 11月 9日(日)
簿記実務検定試験	100	令和7年 6月 22日(日)
	101	1級・2級 令和8年 1月 25日(日)
ビジネス文書実務検定試験	74	令和7年 6月 29日(日)
	75	令和7年 11月 23日(日)
英語検定試験	74	令和7年 9月 7日(日)
	75	令和7年 12月 21日(日)
情報処理検定試験	73	令和7年 9月 28日(日)
	74	令和8年 1月 18日(日)
商業経済検定試験	40	令和8年 2月 1日(日)
財務諸表分析検定試験 財務会計検定試験 管理会計検定試験	17	令和7年12月 14日(日)

《今後の行事予定》

- 3 / 25 (火) 学年末休業 ～4/7 (月)
職員会議
- 26 (水) 生徒登校禁止
- 4 / 8 (火) 着任式・始業式・入学式
- 11 (金) 新入生歓迎会
- 15 (火) スタサポ (1・2年)
- 22 (火) 高大連携① (3年)
- 25 (金) 公開授業 (午前)・PTA総会 (午後)
- 28 (月) 第1回生徒大会

